

第1期 美唄市まち・ひと・しごと創生総合戦略の達成状況

＜基本目標1＞ 産業を元気にして安定した雇用を創出する

- (1) 基本的方向
(ア) 地域資源のブランド化と雇用の創出
(イ) 農業経営の安定化と担い手の確保の推進
(ウ) 農業の6次産業化の推進
(エ) 商工業の活性化

評価基準	A	目標値を超えたもの
	B	目標値の約80%以上
	C	目標値の50%以上80%未満
	D	目標値の50%未満
	－	取り組んでいない

(2) 数値目標

数値目標	基準値	H27 実績値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	H31 実績値	H27～H 31 累計	H31 目標値	数値目標 達成率	総合評価	数値目標に関する考察
新たに商品化された特産品数	5商品	1商品	1商品	0商品	2商品	1商品	5商品	15商品	33.33%	D	目標としていた15商品には達しなかった。農商工連携推進補助金による取り組みやふるさと納税の増加などから一定程度、商品開発が進んだものの、新たな雇用を創出するほどの商品開発には至らなかった。
有効求人倍率	0.74倍	0.86倍	1.06倍	1.00倍	1.32倍	1.02倍		1.00倍	102.00%	A	景気の緩やかな回復による求人数の増加及び生産年齢人口の減少により有効求人倍率は上昇したが、依然として人材不足の業種もあり、求人のミスマッチがある。また、平成31年度においては新型コロナウイルスの影響により求人数が減少したことにより有効求人倍率が減少に転じた。

(3) 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

分野	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)								KPI 達成率	総合評価	H31事業内容	数値目標、 具体的な施策及び成果 に関する考察	担当課
		基準値	H27 実績値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	H31 実績値	H27～H 31 累計	H31 目標値					
農商工連携	農産物のブランド化の推進													
	農商工連携推進補助金交付団体数		1件	1件	1件	2件	4件	9件	5件	180.0%	A	(継続) 羊乳の焼菓子、米麴甘酒 (新規) スノーフード、ニンニク	農商工連携推進補助金の申請団体は増加傾向にあり、引き続き事業のPR等に努め、農商工連携商品の開発を促進する。	経済観光
	エリア放送首都圏マンション共聴棟数		0棟	0棟	0棟	0棟	0棟	0棟	1,500棟	0.0%	—	—	事業者との調整がつかず見送ることとした。	企画広報
	国内外のプロモーションによる販路開拓													
	国内商談会出展回数		3回	1回	0回	0回	2回	6回	10回	60.0%	C	・首都圏商談会(大阪府)1回 ・道内商談会(札幌)1回	定期的な商談会が行えなかった中、平成31年度はツーリズム・エキスポ(国内旅行博)にて商談を実施。本市の魅力を伝えるため北海道や空知総合振興局と連携した事業実施は効果が高く、今後も継続し、関係人口・観光客の増を図りたい。	経済観光
	海外プロモーション実施回数		3回	5回	2回	1回	2回	13回	20回	65.0%	C	タイ1回、台湾1回	道や市内民間企業との連携によりプロモーションを実施。プロモーションの成果として外国人の入込者が増加している。	経済観光
雇用対策	雇用環境の整備と新たな雇用の創出													
	技能講習資格取得者数(延べ)		109人	136人	143人	151人	173人	712人	600人	118.7%	A	・受講料の1/2を補助	資格取得者は増加傾向にあったことから、目標を達成できた。	経済観光
	ふるさとハローワークによる就労促進													
	美唄市ふるさとハローワーク職業紹介者の就職率		38.0%	35.0%	45.9%	44.5%	53.2		40.0%	133.0%	A	・来所者 4,488人 ・職業紹介 578人 ・就職者 308人	就職率は増加傾向にあったことから、目標を達成できた。	経済観光
	通年雇用化数		5人	2人	1人	1人	17人	26人	40人	65.0%	C	・季節労働者通年雇用促進協議会への補助 会員数 228人	季節労働者通年雇用促進協議会を通じた支援を行ってきたが、目標値は達成できなかった。	経済観光

農業振興	基盤整備の促進とIT先進農業技術の活用													
	担い手への農地の集積割合		92.0%	92.0%	93.3%	93.2%	93.2%		95.0%	98.1%	B	・認定農業者439人(新規9人)	目標値を超えることはできなかったが、ほ場の基盤整備と連動した先進農業技術の普及推進に向けて取り組むことで、新たな担い手の育成・確保に繋がり、効果的なものとなった。	農政
	農業経営の複合化、法人化の推進													
	法人の組織化		8件	4件	2件	1件	0件	15件	5件	300.0%	A	・北海道主催の法人設立研修会への関係機関周知	農業経営の複合化や安定には繋がる施策と目標として取り組めたものの、1戸1法人が占める割合が高く雇用の創出に十分な成果を得られなかった。	農政
商工業振興	農業の6次産業化の推進													
	食品加工研究センター検討、設置		0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	0.0%	D	・食品加工施設の検討	他の食品加工施設を現地調査して検討を重ねてきたものの、実施主体や利用者の確保、施設の設置・維持に係る費用などの課題もあり、食品加工研究センターの構想の作成や設置までには至っていない。	農政
	中心市街地の賑わい創出													
	ふれあいサロン利用者増		3,656人	4,855人	8,360人	13,491人	13,965人	44,327人	20,000人	221.6%	A	・イベント開催 89回	各種イベントの開催により、目標値を達成できた。	経済観光
	まちなか交流広場入込数		1,500人	2,000人	1,900人	1,900人	300人	7,600人	10,000人	76.0%	C	H30年度で地方創生推進交付金が終了したことにより、H30年度まで実施していたワクワク祭りは未実施。	H31はワクワク祭りを開催しなかったことなどから、目標値には達しなかった。	経済観光
	買い物バス利用者数		3,698人	3,459人	3,652人	3,447人	2,925人	17,181人	20,000人	85.9%	B	・買い物バス運行補助	折り込みチラシ等による周知を継続してきたが、運行日の減少もあり、目標値には達しなかった。	経済観光
	食料備蓄拠点構想の実現													
	食料備蓄拠点の立地		0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	0.0%	D	・食料備蓄推進協議会への補助	食料備蓄推進協議会への補助を行ってきたが、立地には至らなかった。	経済観光
	空知団地への企業立地の促進													
	立地企業数		1件	1件	0件	1件	0件	3件	1件	300.0%	A	・立地企業なし	3件の立地企業があったことから、目標値を達成できた。 (一社)北海道スノーフード研究会が立地し、研究会が建設した工場では、地元農産物を加工した新たな商品の生産が開始され、新たな雇用を創出できた。	経済観光
	ホワイトデータセンター構想の実現													
	立地企業数		0件	0件	0件	1件	0件	1件	1件	100.0%	A	・立地企業なし	H30年度に1件の立地があり、目標値を達成できた。	経済観光
	雪の聖地びばいプロジェクトの推進 (利雪プロジェクト・海外プロモーション関係分)													
	サテライトオフィスの誘致		1件	1件	1件	0件	0件	3件	1件	300.0%	A	・サテライトオフィス入居なし	3件の入居があったことから、目標値を達成できた。 テレワーク事業を行うポートヘフナー社の入居は、美唄市に新たな働き方をもたらし、時間に問われず働きたいニーズに対応することが可能となった。	経済観光
	外国人観光客数(宿泊)		167人	77人	434人	417人	366人	1,461人	1,300人	112.4%	A	・市内宿泊施設(トマーレ・民泊) 366人	国内外プロモーションの実施によりインバウンド客の増加に努めてきた。インターンシップや教育旅行の受入、体験ツアーの実施により目標値達成している。	経済観光
	美唄経済戦略会議の設置													
	美唄経済戦略会議の設置		1件	0件	0件	0件	0件	1件	1件	100.0%	A	・美唄市産業連携会議の開催	平成27年度に「美唄市経済戦略会議」を設置していたが、平成31年度に「美唄市経済戦略会議」・「美唄市地域経済円卓会議」を整理・統合し、新たに「美唄市産業連携会議」を設置。	経済観光

<<基本目標2>> 地域資源を使って新しいひとの流れをつくる

- (1) 基本的方向
- (ア) 国内外プロモーションの実施
- (イ) 道道美唄富良野線沿線の利活用
- (ウ) 移住・定住の促進等

評価基準	A	目標値を超えたもの
	B	目標値の約80%以上
	C	目標値の50%以上80%未満
	D	目標値の50%未満
	－	取り組んでいない

- (2) 数値目標

数値目標	基準値	H27 実績値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	H31 実績値	H27～H 31 累計	H31 目標値	数値目標 達成率	総合評価	数値目標に関する考察
観光入込客数	310,000人	300,872人	300,872人	302,300人	311,002人	396,579人		900,000人	44.1%	D	当初、道の駅の建設による観光客の増加を見込んでいたが、建設には実現できなかったため数値目標の達成には至らず微増にとどまった。今後は新型コロナウイルスの影響による観光入込客数の減少は避けられない状況で、市内宿泊施設や飲食店を中心とした観光関連産業への影響が懸念される。
社会増減数(転入－転出)	▲ 301	▲ 305	▲ 299	▲ 246	▲ 269	▲ 261		▲ 252	96.6%	B	平成22年度と平成31年度の人口に占める転入及び転出者数の減少率を比較した時に、転出者の減少率が24.9%に対し転入者の減少率は35.4%となっている。人口減少に伴い転出者の減少率は緩やかに低減しているが、それを大きく超えて転入者の減少率が大きくなっている。転入転出の主な理由として最も多いのが「就職、転職、転勤等」仕事を理由とするものであり、新規就業者の減少や転勤による転入者の減少などが大きく影響しているものと考えられる。今後、人口を維持、地域経済を安定させていくためには、出産世代の女性及び地域経済を支える生産年齢人口の移住定住の促進を図ることが重要と考える。

- (3) 具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

分野	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)								KPI 達成率	総合評価	H31の事業内容	数値目標、 具体的な施策及び成果 に関する考察	担当課
		基準値	H27 実績値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	H31 実績値	H27～H 31 累計	H31 目標値					
観光・交流	国内外プロモーションの推進													
	観光入込客数		300,000人	300,872人	302,300人	311,002人	396,579人		900,000人	44.1%	D	・観光施設、イベント等にて年間入 込客数調査実施	新たな交流拠点施設(道の駅)の整備が実現していないた め、観光入込客は微増に留まっている。	経済観光
	外国人観光客数(宿泊)〔再掲〕		167人	77人	434人	417人	366人	1,461人	1,300人	112.4%	A	・市内宿泊施設(トマーレ・民泊) 366人	国内外プロモーションの実施によりインバウンド客の増加に努 めてきた。インターシップや教育旅行の受入、体験ツアー の実施により目標値を達成している。	経済観光
	観光ルートの開発とPR													
	観光ルートの開発		0件	1件	0件	0件	1件	2件	1件	200.0%	A	・冬期の観光ルート(美唄スノーラ ンド) 1件	市が開発したルートのほか、民間企業との連携により新たな 観光ルートを開発し、官民連携によるプロモーション等を実 施。	経済観光
	新たな交流拠点施設(道の駅)の設置													
	交流拠点施設(道の駅)構想の 検討と策定		0件	0件	0件	0件	0件		1件	0.0%	－	・道の駅構想の検討はなし	・美唄市経済戦略会議において、H27年度に経済団体や学 識者等と検討を行ったが、道道美唄富良野線の工期が延長 したため、中断。その後、具体的な構想や検討は未実施。	経済観光
	サイクルツーリズムの推進													
	サイクリングコースの設定		0件	3件	0件	0件	1件	4件	3件	133.3%	A	・美唄雲海ヒルクライム(ふるさとの 見える丘展望台)コース 1件	H28年度のサイクリング等観光ルート形成事業においてサイ クリングルートを開発し、ルートのPRを行うとともに、啓発イ ベント等を開催した。	経済観光

	スポーツ合宿等の誘致推進													
	合宿の誘致		0回	4回	44回	47回	33回	128回	9回	1422.2%	A	・スポーツ合宿 31回 (トマーレびばい 7種目 31回) ※市内関係団体との連携及び健康スポーツに関する総合展示のイベントや各種セミナー会場で合宿誘致PR等 ・サテライト・キャンパス 2件 トマーレびばい 1(27人) ホテルスエヒロ 1(7人)	近年、クライミング競技の合宿が増加し、最多利用者数となっており、目標を大幅に超えた。 学校活動・文化活動の利用が少ないことから、スポーツにとどまらず文化活動など、多方面への周知が必要と考える。	生涯スポーツ振興、経済観光、企画広報
	移住・定住の推進													
	美唄市に移住する人数		10人	8人	26人	8人	7人	59人	40人	147.5%	A	・住宅取得助成 3件6名 ・通勤助成 1件1名 ・移住フェアの出版 ・移住専門誌やYahoo広告への掲載、札幌市内循環バス映像広告など	平成29年度は消費税増税前の新築需要があり移住者が多かったほか、コンスタントに移住が促進されている。新築住宅に係る助成制度のほか立地条件などを考慮し移住するケースが多かった。数値目標(社会減)に対する寄与度は高い。	企画広報
	地域インターンシップの研究と開発													
	プログラムの開発		0件	1件	3件	1件	3件	8件	3件	266.7%	A	・美唄サテライト・キャンパス地域インターンシップ事業3件(46人)	美唄サテライトキャンパスの協働事業により目標を達成した。	生涯・スポーツ振興、経済観光

<<基本目標3>> 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- (1) 基本的方向
- (ア) 結婚から子育てまでの切れ目のない支援
- (イ) 市民や地域が一体となった健康づくり
- (ウ) 学力向上に向けた取組の推進

評価基準	A	目標値を超えたもの
	B	目標値の約80％以上
	C	目標値の50％以上80％未満
	D	目標値の50％未満
	－	取り組んでいない

- (2) 数値目標

数値目標	基準値	H27 実績値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	H31 実績値	H27～H 31 累計	H31 目標値	数値目標 達成率	総合評価	数値目標に関する考察
まちづくり市民アンケート調査の「子育てしやすいまち」だと思う市民の割合	28.1%	28.8%	29.0%	32.3%	23.0%	22.0%		60.0%	36.7%	D	各施策の取組項目については、おおむね目標値に近づける結果となったものの、市民アンケートでは、保健・医療環境や遊び場が不十分など考える市民の割合が多く、子育て環境の改善について、市全体で課題を共有し取り組めなかったことなどから、「子育てしやすいまち」だと感じる子育て世代の割合を高めるに至らなかったと考える。
合計特殊出生率	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.29		1.35	95.6%	B	H31の実績値はR2年8月に公表された数値で、平成25年からH29年までの5年間の合計特殊出生率を表したものであるため、総合戦略による取り組みの効果が反映されているとは言えないものの、依然として全国平均(1.43)、北海道平均(1.30)を下回る数値となっている。

- (3) 具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

分野	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)								KPI 達成率	総合評価	H31の事業内容	数値目標、 具体的な施策及び成果 に関する考察	担当課
		基準値	H27 実績値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	H31 実績値	H27～H 31 累計	H31 目標値					
子育て支援	子育ての希望をかなえる支援													
	乳幼児健康診査等受診率		94.3%	95.4%	97.3%	96.4%	96.0%		100%	96.0%	B	・乳児健診(4・7・12M) 対象216人 受診210人 ・1.6か月健診 対象92人 受診87人 ・3歳児健診 対象97人 受診92人	受診率は目標値の100%には至っていないものの、90%以上の受診率を維持している。また未受診の場合でも、再度の受診勧奨や個別対応を行っており未把握児はいない。受診時間帯の工夫などしてきたところだが、子育て支援充実のため、今後もさらに受診しやすい健診体制を整えていく。	健康推進
	子育て支援センター利用者(1日平均)		20.3人	15.3人	21.2人	20.9人	19.2人		23.0人	83.5%	B	・1日平均利用者数 大人8.5人 こども 10.7人 ・子ども子育て講座延べ参加者 大人 497人 こども609人 49回実施 ・はみんぐ祭参加者 大人77人 こども91人	毎月、様々なイベントを開催するほか、休日開館も定期的に実施し、親子連れで利用しやすい環境づくりに取り組んできたところであり、はみんぐ祭を含めない利用でも概ね目標に近い利用者となった。子育て世代の生活に定着し子育て支援に成果があったものと考えてるが、さらに利用しやすい環境づくりに努めていく。	こども 未来
	結婚の希望をかなえる支援													
	市内で開催される婚活パーティー支援		3回	2回	2回	2回	2回	11回	10回	110.0%	A	・市外で開催される婚活イベントの 周知	民間が実施する婚活パーティーを側面から支援してきたところであり、一定の成果があったものと考えてる。	こども 未来
	妊娠・出産の希望をかなえる支援													
	特定不妊治療費助成件数		0件	0件	5件	4件	17件	26件	28件	92.9%	B	事業を実施して3年が経過し、周知が進んだことにより件数が増加してきている。 R1 実11件、延17件	平成29年度から「美咲市特定不妊治療費助成事業」として支援を開始し、治療に係る負担の軽減を図ることができた。事業の浸透により利用が増加し、制度利用の実人員も増え、延べ件数は目標値に近いものとなった。	健康推進
	人工授精・一般不妊治療費助成件数		0件	0件	0件	0件	0件	0件	40件	0.0%	—	—	人工授精や一般不妊治療は保険適用の治療となっており、治療費用のうち支援対象とする費用を適切に把握することが難しいことから、助成の制度化は見送りとした。なお、保健適用とならず費用が高額となる場合がある特定不妊治療に対しては、道の支援制度と合わせて利用可能な市の支援制度を平成29年度から開始した。	健康推進

	子育てしやすい就労環境の整備													
	美唄市ハローワーク職業紹介者の就職率		38%	35%	45.9%	44.5%	53.2%		40%	133.0%	A	・来所者 4,488人 ・職業紹介 578人 ・就職者 308人	就職率は増加傾向にあったことから、目標を達成できた。	経済観光
	通年雇用化数		5人	2人	1人	1人	17人	26人	40人	65.0%	C	・季節労働者通年雇用促進協議会への補助 会員数 228人	季節労働者通年雇用促進協議会を通じた支援を行ってきたが、目標値は達成できなかった。	経済観光
	病児・病後児保育の推進													
	病児・病後児保育室の開設		0カ所	0カ所	1カ所	1カ所	1カ所		1カ所	100.0%	A	・利用延人数 113名	市立美唄病院内に整備し、平成29年度から受け入れを開始した。利用人数は年々増加し、平成31年度においては60名近い利用登録があり、実利用児童24名で、平均で1名当たり5回近くの利用があり、必要な病児保育を実施し、保護者の子育てと就労の両立を支援した。	こども未来
	保育環境の向上													
	3歳未満児の受入数		47人	42人	48人	47人	49人		50人	98.0%	B	・入所状況の迅速な情報提供	3歳未満児は、保育の中でもニーズが高く、ほぼ目標の受け入れを実施しており、子育て支援という保育環境の向上に大きな成果があったものとする。なお、3歳未満児の保育は、引き続き高いニーズが見込まれる。	こども未来
	自園給食に満足する子供の数		118人	123人	126人	129人	123人		150人	82.0%	B	・食材、味、量を含め献立を工夫	配置している栄養士により栄養摂取の観点などから献立を工夫し、子どもたちの満足度は高いととらえており、保育環境の向上にも寄与している。	こども未来
	美唄サテライト・キャンパスによる人材育成													
	音楽指導を受ける学校数		4校	0校	5校	0校	0校	9校	8校	112.5%	A	—	音楽演奏や鑑賞を通じた交流による音楽スキルの向上を主目的とした、ふれあいコンサートや合同練習キャンプ、ワークショップを高校生、中学生、小学生を対象に実施した。また、幼稚園・保育所等の園児を対象とした、ふれあいコンサートを実施した。(H27 5回、H28 1回、H30 1回)。	生涯学習・スポーツ振興
保健	まちづくり自主活動団体数		1団体	0団体	1団体	0団体	0団体	2団体	1団体	200.0%	A	・びばい学問題集改編追加印刷(25部)(まちラボBIBAI支援)	自主活動団体の立ち上げに向けたきっかけづくりや運営のアドバイスなど、支援を行った。	生涯学習・スポーツ振興
	健康づくりの推進													
学校教育	まちづくり市民アンケート調査の「自分が健康」だと思う市民の割合		71.3%	71.1%	68.0%	64.9%	69.8%		70.0%	99.7%	B	各ライフステージで栄養相談や健診、健康教育、健康相談を実施。運動推進、受動喫煙防止対策、世代間交流事業などを実施。新たに保健センターフェイスブックで健康情報発信を行う	高齢化に伴い、疾患や体調の変化があること主観的健康観に影響していると考えられる。病気や障がいがあっても地域で生活できる環境と子どもの頃からの生涯にわたる健康づくり支援が今後必要。	健康推進
	地域や家庭教育における学習支援													
	学習支援実施校		7校	7校	6校	7校	6校		9校	66.7%	C	・小学校4校 ・中学校2校	統廃合により支援学校が減。学校活動の実情に合わせ、支援していく。	生涯・スポーツ振興
	読書活動等を通じた確かな学力の育成													
	児童1人当たりの年間貸出冊数		5.9冊	7.0冊	7.6冊	11.1冊	7.2冊		21.7冊	33.0%	D	・小学校4校蔵書数 20,590冊 貸出冊数 5,813冊 図書購入数(寄贈88冊含む。)600冊 ※朝読書、読書感想文の取組など	朝読書、読書感想文の取組により、学校においては読書を推奨している。しかし、読書以外の興味の多様化、学校司書の未配置等により、学校図書館に魅力を感じる児童が減少しているため貸出冊数の増加につなげていない。	学務
	雪の聖地びばいプロジェクトの推進（美術教育関係部分）													
	美術教育プログラムによる指導者育成 ※(カッコ)書きは、移動美術展等の参加者数		20人 (54人)	3人 (68人)	0人 (48人)	0人 (352人)	0人 (59人)	23人 (581人)	50人	46.0%	D	・移動美術展(スクールミュージアム) ・ワークショップ ・完成イベント(市民文化祭展示)	美術教育プログラムを実施したが、参加者の減少により、平成28年度で終了とした。しかしながら札幌大谷大学の学生による児童・生徒を対象とした移動美術展やワークショップを行い、美術の魅力を伝えるとともに、豊かな心の育成が図られた。(実績：茶志内小学校(H27)、東小学校(H28、H30)、南美唄小学校(H29)、峰中(H30)、中央小(31))	生涯・スポーツ振興

<<基本目標 4>> 高齢者や子どもたちが安心して暮らせるコンパクトなまちをつくる

- (1) 基本的方向
- (ア) 安全・安心して暮らせるコンパクトなまちづくりの推進
- (イ) 拠点と拠点を結ぶ交通ネットワークの形成

評価基準	A	目標値を超えたもの
	B	目標値の約80%以上
	C	目標値の50%以上80%未満
	D	目標値の50%未満
	－	取り組んでいない

- (2) 数値目標

数値目標	基準値	H27 実績値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	H31 実績値	H27～H 31 累計	H31 目標値	数値目標 達成率	総合評価	数値目標に関する考察
まちづくり市民アンケート調査の「住みよいまち」にかかる市民の割合	47.9%	39.5%	41.8%	42.7%	40.4%	44.2%		現状値より高める	92.3%	B	基準値である平成25年度の47.9%より高める結果とはならなかったが、平成27年度以降増加してきているが、まだ半数以下が「住みよいまち」と感じていない結果となった。その主な理由としては「医療環境が不安」、「交通が不便」、「買い物が不便」を挙げている市民が多かった。
まちづくり市民アンケート調査の「公共交通の満足度」にかかる市民の割合	61.3%	68.1%	64.1%	56.2%	57.2%	62.4%		70.0%	89.1%	B	「公共交通の満足度」の目標値の70%は達成できなかったが、当初の基準値からいったん下落し、平成29年度から平成31年度まで上昇している分析として、公共交通網形成計画に沿った路線見直しによるいったん不便を感じる市民が増えたものの、その後市民に浸透してきたことが要因と考える。

- (3) 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

分野	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)								KPI 達成率	総合評価	H31の事業内容	数値目標、 具体的な施策及び成果 に関する考察	担当課
		基準値	H27 実績値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	H31 実績値	H27～H 31 累計	H31 目標値					
都市基盤	コンパクトシティの形成に向けた取組の推進													
	コンパクトなまちのグランドデザイン 形成		0件	1件	0件	0件	0件	1件	1件	100.0%	A	—	平成28年度に美唄市コンパクトシティ構想を策定し、現在は 立地適正化計画においてコンパクトシティを推進している。	都市建築 住宅
	コンパクトシティエリアとして想定して いる条丁目の人口割合		66.2%	66.3%	66.5%	67.1%	67.8%		68.0%	99.7%	B	・市立美唄病院の建替え、公営住 宅再編の検討 ・移住定住助成事業の実施	立地適正化計画は策定したものの、計画に基づいた整備は これからであり、コンパクトシティエリアの人口割合を高めてる 要因としては、郊外の地域の人口減少が多くなっていることが 挙げられる。	企画広報 都市建築 住宅
	交通ネットワークの形成に向けた取組の推進													
	地域公共交通網形成計画の策定		1件	0件	0件	0件	0件	1件	1件	100.0%	A	＜市民バス東線＞ ・H31.4本格運行開始による路線 及びダイヤの全面改定 ・R1.10料金改定 ・R2.1東明通り先回り第4便をいな ほ経由に変更し、ダイヤの一部変 更 ＜市民バス西線＞ ・H31.4スクールバス(一般混乗)の 児童の卒業・入学・及び峰延小学 校の閉校に伴う路線変更 ・R1.10料金改定 ＜乗合タクシー＞ ・R2.2料金改定	数値目標には届いていないが、公共交通網形成計画に沿っ た路線見直しが市民に浸透してきたことにより、満足度が上 昇していると思われる。令和2年度が現行の美唄市地域公共 交通網形成計画の最終年度となっていることから、本年度か ら令和3年度にかけて、次期形成計画の策定を行い、利便性 及び満足度の向上に努める。	生活環境